

Fujigaoka 藤が丘駅周辺のミライを みんなで考える

2

Workshop Report

ワークショップvol.2のご報告

2019年11月発行

編集・発行

横浜市都市整備局・東急株式会社・学校法人昭和大学



横浜市



東急



昭和大学



藤が丘駅周辺の新たなまちづくりに向けて、「藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ vol.2」を全部で4回開催し、109名の方にご参加いただきました。また、ハガキやメールでご意見をお寄せいただいた方を含めると、合計で190名の皆さまからご意見やアイデアをいただきました。

本レポートでは、ワークショップで説明した内容と、これまでいただいた主なご意見やアイデアを紹介します。

ワークショップ vol.2 開催概要

テーマ

- ①再整備の基本的な考え方、再整備イメージの良いと思ったところ、気になったところを確認しよう！
- ②駅周辺のミライのシーンやあったら良いなと思う場を出し合おう！

開催日時・ご参加いただいた人数

1回目	9/6 (金)	14:00~16:15	27名
2回目	9/6 (金)	18:30~20:45	26名
3回目	9/8 (日)	10:00~12:15	29名
4回目	9/8 (日)	14:00~16:15	27名

※ハガキやメールで

ご意見のみお寄せいただいた方 81名

開催場所

横浜市藤が丘地区センター 中会議室

当日のプログラム

- 1) 開会
- 2) 目的と進め方
- 3) 「藤が丘駅前地区再整備の基本的な考え方」の説明
- 4) 事業者が検討中の再整備イメージの紹介
- 5) グループワーク①
- 6) 休憩
- 7) グループワーク②
- 8) 発表・まとめ
- 9) 閉会

1 「藤が丘駅前地区再整備の基本的な考え方」の概要

ワークショップの冒頭では、横浜市・東急株式会社・学校法人昭和大学の三者で検討中の「藤が丘駅前地区再整備の基本的な考え方」について説明しました。

再整備の目標

今回の機能更新の機会を捉え、駅前広場や商業施設、公園、地域等との連携により、次の50年に向けたまちの顔づくりをするために、3つの目標を掲げます。

オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した、藤が丘らしい駅前拠点の形成

1

藤が丘を象徴する公園・病院の一体整備と緑豊かなホッとする居場所づくり

- 豊かな緑や居心地の良さが感じられる多様なオープンスペースの創出
- 公園・病院の一体整備による緑あふれる空間の創出
- 地区の骨格となる谷本公園周辺プロムナードの強化

2

周辺地域への起点となる歩行者ネットワークの形成

- 沿道の歩行者空間の拡充
- 回遊性のある歩行者ネットワークの形成
- バリアフリーに配慮した歩行者にやさしい環境の形成

3

安心で健康なまちのモデルとなる駅前の機能集積と地域連携

- 病院機能の維持・更新による安心できる災害に強いまちづくりの推進
- にぎわい軸の形成と生活利便・生活支援・地域交流機能の拡充
- 地域と連携し、まちを育むエリアマネジメントの推進

ワークショップ各回の様子

① 9/6 (金) 14:00～

「一体的に整備することによって可能性が広がる」、「地域に開かれた病院にしたい」などのご意見が寄せられました。



② 9/6 (金) 18:30～

「子どもたちも参加してまちづくりを考えられると良い」、「建物で空が狭くなるのが心配」などのご意見が寄せられました。



再整備の考え方

公園・病院の一体的な再整備には、複数案が考えられます。「再整備の目標」を踏まえ、緑豊かなオープンスペースの創出と病院機能の継続を目指すとともに、商業・飲食などのにぎわい機能や、駅周辺全体の歩行者ネットワークを強化し、藤が丘らしい駅前拠点の形成を目指します。

●にぎわい軸の形成

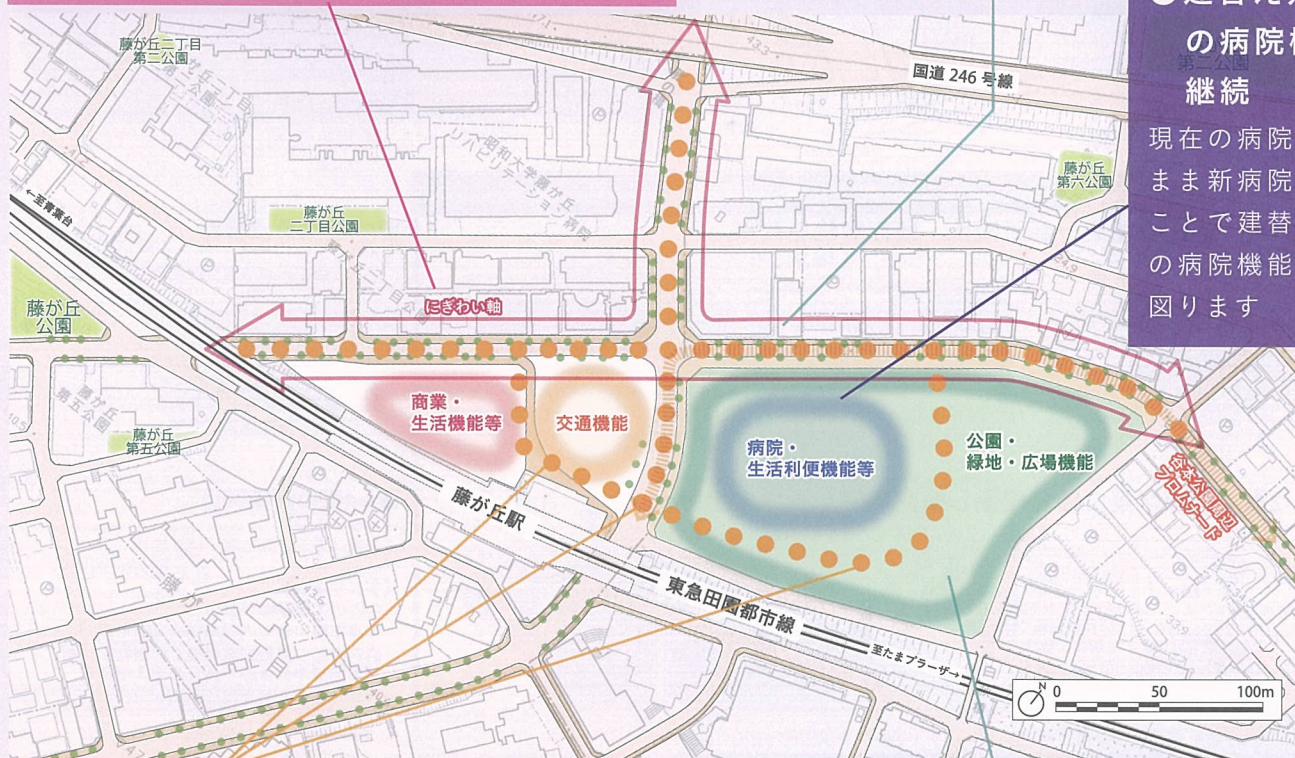
通りの両側において、商業・飲食などのにぎわい機能、生活利便・生活支援機能等の誘導を図ることで、にぎわい軸の形成を図ります

●谷本公園周辺プロムナードの強化

プロムナード沿いに広場や空地を設けることで、歩行者空間の拡張を図ります

●建替え期間中の病院機能の継続

現在の病院を残したまま新病院を建てることで建替え期間中の病院機能の継続を図ります



●歩行者ネットワークの強化

新たな歩行者ネットワークを整備することで、歩行者の駅周辺へのアクセス性と回遊性の向上を図ります

●緑豊かなオープンスペースの創出

公園と病院の一体的な再整備により、さらに緑豊かなオープンスペースの創出など魅力ある空間の創出を図ります

③ 9/8 (日) 10:00~

「駅前だけに人が集まるのではなく、回遊性の高いまちにしたい」、「公園まで人が流れる動線や見通しを確保したい」などのご意見が寄せられました。



④ 9/8 (日) 14:00~

「多世代が過ごせる居場所づくり」、「駅を降りたら緑が見えると良い」などのご意見が寄せられました。



2 再整備イメージの紹介

以下は、東急株式会社、学校法人昭和大学が検討中の再整備イメージです

今後の協議及び検討状況により内容が変更となる場合があります

公園・病院の再配置について

再整備に向けて公園・病院の再配置に関する検討プロセスについて説明しました。

再整備にあたっては、病院機能を継続し、現在よりもより緑豊かなオープンスペースを創出できるB-2案で検討を進めています。

【現在】



※国土地理院：地図・空中写真閲覧サービス：20070426 (平19)：CKT20072-C27-10を加工して作成

A：公園・病院現位置整備案

A-1案：病院機能を一部新築後、既存病院を改修



■A-1案の評価項目

【メリット】

- ・公園は現況と同位置で現状維持

【デメリット】

- ・病院の工事期間が長い
- ・病院改修後10～15年で建替検討が必要
- ・工事完了後の病床数減少
- ・工事期間中の休床や救急の受入制限有
- ・分棟により病院運営に支障

A-2案：分棟新築で機能確保し既存病院を解体・建替え



■A-2案の評価項目

【メリット】

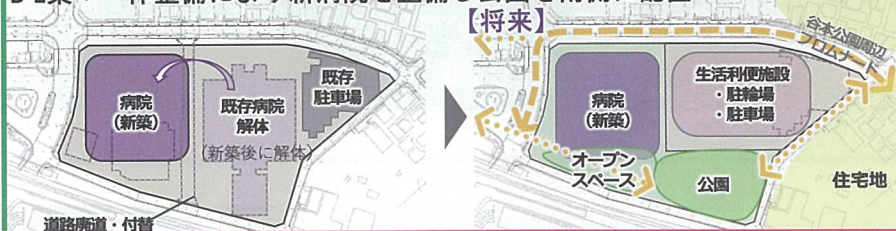
- ・公園は現況と同位置で現状維持

【デメリット】

- ・病院の工事期間が長い
- ・工事期間中敷地内駐車場の確保が困難
- ・病院機能の移転回数が多く利用者に負担
- ・工事期間中の休床や救急の受入制限有
- ・分棟により病院運営に支障

B：公園・病院一体整備案

B-1案：一体整備により新病院を整備し公園を南側に配置



■B-1案の評価項目

【メリット】

- ・病院機能の継続が可能
- ・緑豊かなオープンスペースの創出

【デメリット】

- ・工事期間中公園の閉鎖期間が生じる
- ・公園が坂の上に位置し、谷本公園周辺プロムナードとの回遊性に乏しい
- ・公園の大規模な盛土・造成が必要
- ・北側市街地側に複数建物が近接

B-2案：一体整備により新病院を整備し公園を東側に配置



■B-2案の評価項目

【メリット】

- ・公園・病院機能の継続が可能 (但し公園機能は一時減少)
- ・地形を生かした土地の有効利用が可能
- ・より公園と一体で連続的につながる緑豊かなオープンスペースの創出

【デメリット】

- ・工事期間中敷地内駐車場の確保が困難

再整備イメージ

基本的な考え方に加えて、事業者が検討中の再整備イメージを紹介しました。

東西方向の道路の沿道街区に商業など生活利便施設を配置するとともに、駅前街区、公園・病院街区においても、生活利便施設やオープンスペース等を配置することにより、人々が行き交い交流するにぎわい軸の形成を検討しています。

駅至近の立地特性を活かし、土地の高度利用を図るとともに、周辺の店舗や住宅などへの環境に配慮し、調和のとれた魅力ある街並みの形成を検討しています。



模型写真 (全体鳥瞰/北東から)



(全体鳥瞰/南西から)



ワークショップでは、ご参加の皆さまから、多様なご意見やアイデアをいただきました。
ここではカテゴリー別に、いただいた主なご意見やアイデアを紹介します。

主なご意見

● 良いと思ったところ、ご意見やアイデア

● 気になったところ、ご意見やアイデア

【一体的まちづくり】

● まちの可能性を引き出す、 次世代を見据えた一体的な整備

- ・ 駅周辺の一体的なまちづくりを進めたい
- ・ 将来を見据えた次世代を感じるまちづくりを進めたい

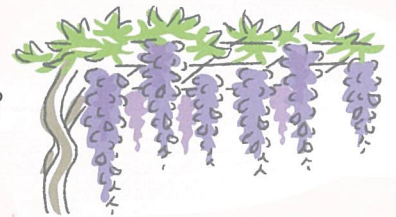
● 病院の機能を維持した再整備

- ・ 病院の機能を継続しながら再整備を進められることが必要
- ・ 提案位置での建替えしかないと思う

● 検討中の案と異なる位置での病院の建替えの可能性はないか？

● 事業の実現性が気になる

- ・ 将来を見据えた実現性の高い事業を目指してほしい
- ・ 駅も一緒に整備できないか？



【まちのイメージ】

● 藤が丘らしい「ホッとする」まちの実現

- ・ 噴水や藤棚などのシンボルを設けたい
- ・ 子どもたちがまちに愛着を持つきっかけづくりに取り組みたい



【街並み、景観】

● ゆったりした歩道で、四季を感じるプロムナードの整備

- ・ 歩道の広いゆったりしたプロムナードにしたい
- ・ 四季を感じる明るいプロムナードにしたい
- ・ 商店街の活性化につながるプロムナードにしたい

● 高い建物の圧迫感が気になる

- ・ 開放感があって、ホッとする駅前をしたい
- ・ 高い建物の圧迫感や日影が気になる

【みどり、公園】

● 公園とつながる、みどりに囲まれた病院が良い

- ・ みどりに囲まれた病院にしたい
- ・ 公園と病院のオープンスペースが一体的になっていることが良い
- ・ 病院と連携した防災機能のある公園にしたい

● 公園だけでなく、駅前全体がみどりの空間になる ところが良い

- ・ 公園などの既存の樹木を活かしたい
- ・ 住民主体のみどりの管理を継続したい
- ・ 見通しが良く、木立のある公園・オープンスペースにしたい
- ・ 子どもから大人まで楽しめる公園・オープンスペースにしたい
- ・ 盆踊りやマルシェなど多様なアクティビティを生み出したい

● 公園は今と同じ駅前の位置にできないか？

● 駅から公園への人の流れが気になる

- ・ 公園が駅から離れるので、駅から公園への人の流れを
しっかりつくりたい

● 公園の視認性・安全性が気になる

- ・ 人目が行き届く、見通しの良い安全な公園にしたい
- ・ 日の当たる明るい公園にしたい

● オープンスペースはプロムナードと一体に 設けられないか？

【利便性、商業】

●歩いてショッピングを楽しんだり、 飲食を楽しめるまちの実現

- ・歩いてショッピングを楽しめるまちにしたい
- ・カフェなど、おしゃれな飲食店が増えてほしい
- ・生活に必要な物が揃う便利なまちになってほしい
- ・図書やアート、音楽など、文化を感じるまちにしたい

●駅前だけに人や機能が集中することが心配

- ・商店街と連携したにぎわいづくりを進めたい
- ・周囲とつながった駅前だけでないにぎわいをつくりたい
- ・地域の人が出すお店や個人商店が増えると良い

●魅力的な店舗が集まり、 みんなが集うショッピングセンターの実現

- ・魅力的な店舗の入るショッピングセンターになってほしい
- ・まちのシンボルで、みんなが集うショッピングセンターになってほしい



【健康、医療】

●健康・医療をテーマにしたまちづくり

- ・健康や医療に関わる施設を充実させたい



●地域とつながり、開かれた病院の実現

- ・未病の取り組みや介護サービスなどで、地域とつながった病院になると良い
- ・健康づくりやワークショップ、リビングラボなど多様な取り組みが行われる病院にしたい
- ・交流スペースやカフェなどがあり、まちの人が訪れる病院にしたい



【住環境】

●住み続けたい、移り住みたいと思えるまちの実現

- ・住み続けたい、将来戻ってきたいと思うまちにしたい
- ・移り住みたいと思えるまちにしたい

【コミュニティ】

●商店会・病院・事業者が連携した エリアマネジメントの検討



●多世代が楽しく安心して過ごせる環境づくり

- ・高齢者が集う憩いの場をつくりたい
- ・地域包括ケアシステムとの連携や介護施設の充実を図りたい
- ・心地よく過ごせる居場所をつくりたい
- ・多世代が交流できる場をつくりたい
- ・子どもがのびのび遊べ、子育てしやすいまちにしたい
- ・子育て支援施設や子ども向けのイベントを充実させたい

●誰もが過ごしやすいまちの実現

- ・障がいのある方、外国人、すべての人に配慮したまちにしたい

●学生がまちで活躍する場づくり

- ・近隣の大学などの学生がまちで活躍する場をつくりたい

●身近に働く場があり、 新しい事業を始められる環境づくり

- ・身近な場所で働ける環境を整えたい
- ・シェアオフィスや起業支援の機能がほしい
- ・駅前整備に合わせて企業を誘致してはどうか

【歩行環境、移動】

●歩行環境など駅前地区の回遊性の向上

- ・散歩道、サイクリングロード、ランニングコースをつくりたい
- ・商店街や周辺への回遊性も高めたい
- ・プロムナードは、谷本公園や藤が丘公園、鶴見川などにつなげたい

●デッキや歩道の整備によるバリアフリーの実現

- ・バリアフリーのゆとりある歩行空間をつくりたい
- ・デッキでつながるのは便利で良い
- ・ゆったり歩けるデッキにしてほしい

●交通広場の改修による利便性の向上

- ・交通広場に一般車の送迎スペースを確保したい
- ・交通広場をイベントなどで活用できるようにしたい
- ・シェアサイクルやコミュニティバスなど、新しいモビリティの仕組みによる移動しやすい環境をつくりたい



●交通の安全や防犯性の高い、安心して通行できる道の実現

- ・安心して通行できるよう安全性を高めたい
- ・駅前の歩車分離をしたい
- ・車の渋滞を解消したい
- ・自転車レーンの整備など、自転車の通行環境を整えたい
- ・夜間などの道路の防犯性を高めたい

●駐輪場や駐車場の確保

- ・駅の近くに駐輪場を確保したい
- ・駅前に駐車場や停車スペースを確保したい

●駅とデッキを直結できないか？

- ・デッキの下が暗くならないようにしたい
- ・駅から病院までのアクセスを向上したい

●藤が丘駅に乗り入れる公共交通

- ・交通広場に乗り入れるバス路線を拡充したい
- ・コミュニティバスなどの地域交通を整備したい
- ・渋谷や羽田空港からのバスが乗り入れると良い

今後の進め方（予定）

※今後の協議及び検討状況により内容が変更となる場合があります。

2019年度～

2020年度～

再整備基本計画の検討

計画の具体化 など

具体的な事業の実施

ワークショップの開催

ワークショップ vol.2 において多くの皆さまにご参加いただくとともに、様々なご意見やアイデアをお寄せいただき、ありがとうございました。

再整備の考え方や皆さまからお寄せいただいた様々なご意見等をもとに、引き続き「再整備基本計画」の検討を進め、藤が丘駅周辺の新たなまちづくりに向けて取り組んでいきます。

ワークショップに関するお問い合わせ

eメール fujigaoka@community-design.jp

横浜市 都市整備局 市街地整備推進課

Tel 045-671-3519 Fax 045-664-7694

受付時間 | 平日 8:45～17:15

編集・発行

横浜市都市整備局 市街地整備推進課
(eメール tb-seibisuishin@city.yokohama.jp)

東急株式会社 開発事業部 開発第二グループ
(eメール fujigaoka.pj@tkk.tokyu.co.jp)

学校法人 昭和大学 藤が丘病院再整備準備室
(eメール fujisai@ofc.showa-u.ac.jp)